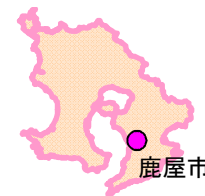


鹿屋市地域公共交通活性化協議会

平成20年9月9日設置
平成21年3月24日連携計画策定



概要

地域の実情に即した新しい公共交通体系を構築し、地域住民の利便性及び住民生活の満足度の向上を図るとともに、鹿屋市が大隅半島の拠点都市としての役割を十分に発揮することを目指し、鹿児島中央駅～鹿屋間の直行バスの実証運行や鹿屋市内の公共交通の再編等に取り組む。

○鹿児島中央駅～鹿屋間直行バスの運行

平成23年春の九州新幹線の全線開業に伴う観光客等の導入による交流人口の増加促進、併せて地場産業の振興や企業立地の推進等の産業振興による定住促進を図るため、鹿児島中央駅～鹿屋間を直接結ぶ交通手段として、平成21年12月から鹿児島中央駅～鹿屋間直行バスの実証運行を行っている。

○市街地巡回バスの再編

利用の多い市街地の商業施設や病院、公共施設にルートを設定して、効率化を図るなど、市街地での買物や通院等の利便性及び回遊性の向上を図るため、市街地巡回バスを再編し、実証運行を行っている。

○コミュニティバスの再編

市内各地域から市街地への移動や各地域内での移動を円滑に行うため、市内各地域と中心市街地との間を運行する廃止路線代替バス等との接続を基本としたコミュニティバスの再編を行う。

○バス待合施設の整備

大隅半島の交通結節点としての利便性の向上を図るとともに、交通の要衝としてふさわしい機能等の整備に取り組む。

